

海老名市立柏ヶ谷中学校 学校運営協議会 議事録
(令和7年度 第5回)

- 1 日時 令和8年2月18日(水) 13:30~15:00
- 2 場所 海老名市立柏ヶ谷中学校 第一会議室
- 3 出席委員 澁谷清美委員長、森山輝男委員、飛矢崎義基委員
大貫直子委員、小宮洋子委員

4 会議の内容

- (1) 委員長挨拶
(2) 学校長挨拶
(3) 議事

① 「地域と関わり地域に貢献できる中学生」について

小宮委員：地域行事への協力は、今年度延べ27の部活と一年生が参加させていただいた。また、職業講話の講師を紹介いただくなど、この学校の財産はまさに地域だと感じている。

森山委員：地域としても貢献できることがあれば、ぜひしたいと思っている。子どもが来てくれれば、親も来てくれる。そういう催しを企画できればよい。今年度のふれあいサロンは将棋部に参加してもらったが、手芸など他の内容も始めたので、参加してほしい。

澁谷委員長：一緒にやる楽しみがあれば多少大変でも、やっていくことができる。

大貫委員：普段、学校には見に行かない保護者も、地域で別の活動をするとなると見に行くという話を聞いている。地域に出ていくことで、保護者の学校への理解や協力も得られるようになるのではないか。

② 令和8年度学校経営のグランドデザインについて

小宮委員：学校教育目標は、令和7年度に引き続き、「未来を生き抜く生徒の育成～たくましく生きる、共に生きる、豊かに生きる～」としたい。昨年度まで、「礎」、「繋」、「和」の三要素だったものを「生きて働く知識・技能」、「課題解決にむかう協働性・包摂性」、「よりよく生きる主体性」に変えたい。これらはこれからの時代に必要な力であると考えている。

澁谷委員長：今の若い人は何か思うことがあっても、自分から声を上げることは少ないのかもしれない。

小宮委員：何かを話し合っ、相談しながら何かを実現していく経験を積み重ねていく。1年生の探究学習での取組、各クラスで実施している。それを2年、3年と積み上げていく。

澁谷委員長：ますます、地域の行事や活動に参加することが大切になってくる。グラウンドデザインについてご承認いただけるか。

各委員：承認。

③ 次年度以降の学校運営協議会について

小宮委員：学校と地域をつなぐ体制を継続していける制度が必要。地域コーディネーター的な組織に変更したい。

大貫委員：先が楽しい組織である。

飛矢崎委員：今年1年で昔以上に地域との関わりが増えた。そういう組織に代わっていけばいいのではないか。

森山委員：お互いに声を掛け合っ、いけるほうがやりやすいのではないか。

澁谷委員：イメージ図の通りやっ、いければよい。

(4) 情報交換

大貫委員：PTA、任意加入が始まっ、8割くらいの加入。何もしたくない人が多いが、ボランティアという形でより多くの方に参加していただけるようにして行ければと思う。

森山委員：大塚ふるさとまつりの片づけ非常に早かった。いろいろと手伝っ、もらえることがわかったので、いろいろと考えていきたい。

飛矢崎委員：地域の状況、学校の状況を考、えて新たな提案をされたので、それやっ、てみて、反省をして、また変えていけばよい。

澁谷委員長：9年前からずっ、と関わっ、てやっ、てきた。やればできるものだなと感、じる。一緒に一つのものを作り上げていくことができ、てよかった。

(5) その他

特になし